

令和5年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

白川村青少年育成村民会議

白川村青少年育成村民会議は、「村民みんなで育む 将来の担い手（創り手）」を合言葉に①家庭教育力向上②地域で地域の子どもの育む③情報端末の安全な使い方を活動の重点にしています。本村在住の青少年育成推進指導員と村が委嘱する各地区青少年育成推進員が中心となり、活動しております。令和5年度は、「あったかい言葉がけ一行詩・あったか川柳の募集」「地域の子どもは地域で育てよう！チラシ配布」を実施しました。

【あったかい言葉がけ一行詩・あったか川柳】

日頃の生活や地域の行事の中で感じた家族・地域とのつながりや心があたたかくなった出来事などを一行詩や川柳にして、義務教育学校生徒・児童および保護者そして住民から募集します。集まった一行詩は、青少年育成推進委員、生徒指導部会、社会教育委員に審査をしていただき、選出された一行詩はより多くの方に見てもらえるよう、村民カレンダーや広報しらかわに掲載しています。あったかい言葉は、ポジティブ感情を生み出し社会的な人間関係の構築を促すといったウェルビーイングの向上に必要なプラスの作用があります。多くの方からの作品を募集し、そして多くの方に見ていただけるように活動を続けてまいります。



左：令和5年度あったかい言葉がけ一行詩・あったか川柳作品
右：令和5年度村民文化祭で作品を掲示

【地域の子どもは地域で育てよう！チラシ配布】

7月、12月、3月の生徒・児童の長期休暇時と9～10月の祭礼前にあわせてお知らせのチラシを全世帯に配布をします。チラシを配布する前には、青少年育成推進委員、生徒指導部会（白川郷学園、保育園）、そして駐在所で合同会議を開催し、地域全体の子どもの様子等の情報共有を行います。チラシの裏面には、各強調月間に関連した内容も掲載し、時には家族で取り組めるようなクロスワードパズルなどを掲載しました。